

2021
年度版

産業教育「工業・貿易・流通」授業テキスト指導案 対象学年 ●小学校高学年 1～2時間

くらしを支える物流のしくみ

〈問題 11〉

「物流の6つの仕事」のうち、保管の仕事をするのが倉庫です。倉庫には、保管するものによっていろいろな種類があります。次のものは、それぞれの倉庫に保管すればよいでしょうか。線で結びましょう。

<P.9>

〈問題 12〉

下の絵は倉庫の仕事の流れです。下の絵を見ながらうすい文字をなぞりましょう。

多くの倉庫では、荷物の受け入れ(入庫)、保管、発送(出庫)を、正確にまた効率的におこなうためにコンピューターを使っています。コンピューターを使って、荷物の持ち主である「荷主」との間で、荷物が倉庫に届いたときの入庫情報、小売店などの「荷受人」が注文した荷物が発送されたときの出庫情報などの情報のやりとりをしています。また、荷物が倉庫のどこにいくつあるかという保管情報も管理しています。

<P.10>

5 身近な物流「宅配便」

〈問題 13〉

あなたが、遠くの友だちや親戚に宅配便で荷物を送るとします。どこの、だれに、何を送りますか。□の中に書きましょう。

<P.11>

〈問題 14〉

宅配便では、荷物を、早く、間違いなく届けるために、いろいろな工夫をしています。下の①～④にあてはまることをばを□から選んで書きましょう。

〈問題 15〉

宅配便の荷物を速く正確に届けるための工夫のひとつが伝票につけられた「バーコード」です。バーコードの情報は何か所で読み取られるのでしょうか。

・2ページに戻り、「物流の6つの仕事」の中から保管の仕事を確認する。

・全体的な流れを、図を使って説明する。

・親戚等を選ばせ、記入させる。

・宅配便のしくみについてテキストにそって読んでいく。子どもに太字を読ませるなどの手立てを行い。飽きさせないようにする。

・〈問題 14〉の④「また、荷物につけられた、バーコードを読み取り、その情報をコンピューターで管理するので、間違いなく届くのです。」ということと関連付ける。

・授業の感想を書かせて終わる。

2021
年度版

産業教育
工業・貿易・流通

テキスト
4

対象学年：小学校高学年 1～2時間

くらしを支える 物流のしくみ

私たちのくらしはたくさんの「もの」に囲まれています。ものを作る生産者と、ものを使う消費者の間のものの流れのことを「物流」といいます。物流の仕事の種類やものを運ぶ乗り物、ものの積みかえを行う施設、ものを保管する施設、そして私たちの身近な宅配便のしくみなどについて勉強します。

1 物流の6つの仕事と4つの乗り物	2
2 陸・海・空のターミナル	4
3 物流を変えたコンテナ	6
4 「倉庫」のやくわり	8
5 身近な物流「宅配便」	10

年 組 名前

1. **対象学年：**小学校高学年（1～2時間）
2. **ねらい：**自分たちのくらしはたくさんのものに囲まれていることを知り、ものを作る生産者と物を使う消費者を結ぶ「物流」のしくみについて関心を持たせる。
3. **進め方：**テキストの通りに進める。テキストの問題を読み、子どもたちに答えさせていく形である。テキストを1枚ずつコピーして配布していく形で進めても良い。

主な発問・指示

<P.2>

1 物流の6つの仕事と4つの乗り物

〈問題1〉

ものを運ぶ物流には、大きく分けて6つの仕事があります。どのような仕事か、□の中のうすい文字をなぞりましょう。

<P.3>

〈問題2〉

6つの仕事のうち、ものを運ぶのが輸送です。輸送に使う乗り物はおもに4種類あります。□に乗り物の種類を書きましょう。

〈問題3〉

それぞれの乗り物と、その特色を線で結びましょう。

〈問題4〉

4つの乗り物のうち、日本国内でもっとも多くのもを運んでいるのはどれでしょう。

トラックがもっとも使われる理由は、日本は多くの場所がトラックで輸送できるきよりにあること、鉄道や船と違って積みかえも必要ないこと、自由な時間に運べることなど、便利だからです。

<P.4>

2 陸・海・空のターミナル

〈問題5〉

A・Bの写真にはどんな乗り物が写っていますか。

〈問題6〉

A・Bの写真に写っている施設を何というでしょう。

ものは、空港や港のような輸送路の始点や終点となるところで、船、飛行機、鉄道、トラックなどの間で積みかえが行われ、最終的な目的地に運ばれます。このような、ものの積みかえが行われる施設を貨物（物流）ターミナルといいます。

指導上の問題点

- ・テキストに名前を書かせる。
- ・「1輸送」から順番に書かせ、テキストに書いてある言葉の意味を読み、必要であれば補足していく。

- ・①は「トラック」でも「自動車」でも可。
- ・②は「貨物列車」でも可。
- ・③は「ジェット機」でも可。
- ・④は「コンテナ船」でも可。

- ・左側の文章は教師が読むとよい。

- ・帯グラフの読み取りを行う。
 - ①タイトル
 - ②出典
 - ③年度
 - ④シェア数の大きいもの など

- ・写真が読み取りづらそうであれば周りがどのような状況か伝え、そこに写っている乗り物を考えさせる。

- ・Aは「空港」でも「国際空港」でも可

<P.5>

〈問題7〉

陸・海・空の輸送路にある貨物ターミナルでは、下のような乗り物の間でもの積みかえが行われます。貨物ターミナルの名前を書いたうすい文字をなぞりましょう。

<P.6>

3 物流を変えたコンテナ

〈問題8〉

下の写真は昔と今の港の写真です。昔と今をくらべてわかったこと、気づいたこと、思ったことを書きましょう。

港で使われている大きな箱を「コンテナ（海上コンテナ）」といい、さまざまな大きさや形の荷物を入れることができます。鋼鉄やアルミニウムなどでできていて、直方体の決まった大きさをしています。コンテナを積める装置をつけたトラックは、船からおろしたコンテナをそのまま積んで運ぶことができます。また、海上コンテナとは大きさが異なりますが、鉄道用コンテナ、航空貨物用コンテナもあります。

<P.7>

〈問題9〉

コンテナはどうして多く使われるようになったのでしょうか。下の①～④にあてはまることばを□から選んで書きましょう。

もっとくわしく

コンテナ船は、1950年代後半にアメリカで使われはじめ、物流にかかる手間や時間、費用や危険性を大はばにへらしました。それ以来、海上コンテナによって運ばれる荷物の量は増える一方です。

<P.8>

4 「倉庫」のやくわり

〈問題10〉

スーパーでたまごを安売りしていたので、たくさん買ってきました。いま使わない分はどうしますか。思いつくだけ書きましょう。

私たちは、料理でたまごを使うたびにスーパーに買いにはいきません。スーパーにいったときに、ある程度の個数を買って家の冷蔵庫に入れておきます。物流で、家の冷蔵庫のやくわりをはたすのが倉庫です。冷蔵庫では、ものが必要になるまでたいせつに保管します。

- ・《ターミナルでのものの積みかえの例》の図を説明する。

- ・「はしけ」「さん橋」等のことばを教師が説明する。

- ・まずは子どもに作業をさせる。その後、教師が文章を読み、答え合わせをしていく。

- ・右のグラフの読み取りも行う。
 - ①タイトル
 - ②出典
 - ③年度
 - ④縦軸
 - ⑤横軸
 - ⑥グラフの傾向（だんだん増えている） など

- ・思ったことを枠内に書かせる。
- ・どのような意見でも認める。